

シニアボランティアに聞く

2013年3月2日(土)午後2時~4時 JICA地球ひろば 2階 大会議室

入場無料
予約不要

定年後も“オレ流のやり方”で仕事をしたい
アルゼンチン/食品工場排水処理 村野文男
派遣期間：2009年9月~2011年9月

「定年」が目前にチラつきだしたころ、まだまだ体力・気力は十分。これまでの経験を、定年を境に捨て去るのはいもったいない。現役中は多くの知人・友人・先輩、世の中にお世話になったし、恩返しもしせねば。それに企業の経営・組織原理・しがらみに縛られず、活動をやってみたい。



そんな折に巡り合ったのがシニア海外ボランティア。願いが叶いアルゼンチンに赴任。配属先は国立工業技術院。異文化との出会いに刺激を受けながら、廃棄物や汚水の処理を兼ねたバイオガス生産方式の検討に、心地よい汗を流してきた。



青年海外協力隊の夢をシニアボランティアで実現
エジプト/看護教育 峰岸まや子

派遣期間：2008年3月~2010年3月

「こういう生き方もあるんだよ」と父から渡された青年海外協力隊のパンフレット、12歳の時だった。看護師・助産師の資格を取得し、協力隊合格。しかし、父の病気で辞退。

発展途上国の人々と一緒に働きたいという思いは強く、47歳のときシニアボランティアでエジプトへ。現地では大学病院で職場環境整備を中心に活動した。30年前の日本の看護の状況だった。現状を把握しつつ、



師長やスタッフが働きやすくしていくことで信頼関係も深まり、日本の看護を知りたいという意識も芽生えていった。私自身はイスラームの世界での看護を肌で感じ、看護の共通性と相違を考えるきっかけとなった。



問合せ先：

NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会
担当 須山 電話 042-587-6829

JICA 地球ひろば

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5
電話 03-3269-2911(大代表)

